

令和2年2月19日開催

市長定例記者会見資料

令和2年度に取り組む主な事業について

令和2年度に取り組む主な事業について

目次

1. いせのくに亀山文化の発信と交流

2. 持続可能な環境の創造と継承

3. 子どもたちの未来サポート

4. 防災・減災対策の強化

5. まちのにぎわい再生プログラム

6. 地域がいまいき輝くまちづくり

+ スマート自治体への挑戦

1. いせのくに亀山文化の発信と交流

- 2020年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるとともに、日本書紀編さん1300年、関西鉄道亀山駅設置130年に当たる節目の年
- この節目の年は、亀山口市制施行15周年、「かめやま文化年2020」アクションイヤーでもあることから、かめやま文化年や三重とこわか国体を見据えた取組の展開により「いせのくに亀山文化」の多彩な魅力の発信と様々な交流促進を展開

文化による創造・交流

かめやま文化年事業 (19,000千円) *New!*
 かめやま文化年2020のアクションイヤーとして、「かがやく」をテーマに年間を通じて市をあげて文化の取り組みを展開します。パブリックプログラム、シチズンプログラムなど様々な取組を実施します。

- かめやま文化年2020で行う事業
- 文化年2020オープニングイベント
 - かめやま歴史文化交流祭
 - かめやま市民音楽祭
 - かめやま歴史の道ウォーキング
 - かめやま街あかり
 - かめやま文化年全体フィナーレイベント など

※主な「日本書紀」編さん1300年・市制施行15周年記念事業

亀山薪能開催事業 (7,800千円) *New!*
 亀山薪能を開催し、市民が文化芸術に触れる機会を創出します。また、市内で活動している市民団体「かめやま子ども能」と高梁市の「こども神楽」を招き文化交流の機会とします。

日本武尊・白鳥伝説交流事業 (556千円) *New!*
 日本武尊・白鳥伝説ゆかりの地である大阪府羽曳野市、奈良県御所市との市民レベルの交流事業を亀山口市を開催地として行います。



スポーツ文化

国民体育大会開催事業 (73,030千円) *New!*
 2021年に開催される三重とこわか国体に向け、リハーサル大会を開催します。また、国民体育大会への機運を盛り上げるため、啓発・広報活動を積極的に展開します。

西野公園改修事業 (運動施設) (31,000千円) *Up!*
 西野公園体育館外部階段の改修などを行うとともに、ウェイトリフティング専用の練習場を設置します。



西野公園改修事業 (公園施設) (42,000千円) *Up!*
 2021年に開催される三重とこわか国体に向け、屋外便所の改築やフェンスの更新工事等を行います。



歴史文化

鈴鹿関跡学術調査事業 (2,860千円)
 古代三関の1つである鈴鹿関跡の国史跡指定に向け、学術調査専門委員会の指導に基づく学術調査を継続して行います。



*New!*は、令和元年度にない新しい取組をする事業を表します。
*Up!*は、令和2年度から一部拡充した取組をする事業を表します。

2. 持続可能な環境の創造と継承

- 環境基本計画、生物多様性地域戦略をはじめとした環境関連計画（5計画）を一体的に改定
- SDGs（持続可能な開発目標）の視点も取り入れた計画改定を行い、持続可能なまちづくりを推進
- 本市の誇りである鈴鹿川等源流域を次世代に継承するため、その保全・活用を継続的かつ着実に推進

環境関連計画改定等事業（930千円） *Up!*

本市の環境政策に関する施策を位置付ける「亀山市環境基本計画」を改定します。改定にあたっては、環境に関連する他の個別計画を統合するとともに、SDGsの視点を踏まえたものとします。

【環境基本計画（中間案）の構成】



※SDGsのアイコンは、関係の深いゴールを表しています。

「鈴鹿川等源流域の保全・活用」に関する主な事業

森林経営管理事業（13,000千円）

森林環境譲与税を活用し、森林所有者への意向調査や森林境界の明確化を行うなど、関係機関等とも連携しながら、未整備森林解消に向けた取組を行います。

森林環境創造事業（17,900千円）

協定に基づく公的管理による森林整備を進めることで、森林の持つ公益的機能の持続的かつ高度な発揮を目指します。

みえ森と緑の県民税市町交付金事業（3,485千円）

身近な森林・里山整備を進める団体を支援するとともに、亀山の木材とふれあう機会を創出します。鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の活動を中心に、源流域を守り地域への愛着を醸成します。

保全



亀山7座トレイル整備・活用推進事業（3,100千円）

地域の鈴鹿山系を代表する7つの山を結ぶ登山ルート（亀山7座トレイル）を開発し、市民団体と協働して観光資源として活用することで、本市への愛着醸成や知名度向上に繋がります。

活用

3. 子どもたちの未来サポート

- 次代を担う子どもたちの豊かな学びと健やかな成長を支える環境づくりを推進
- Society 5.0時代を見据え、令和新時代のスタンダードな学校像としてICT環境を整備
- 妊娠期から幼児期までの切れ目ない支援を行うとともに、子どもたちが安心して生活できる居場所を確保するなど、子育てを支える環境を充実

子どもたちの豊かな学び

井田川小学校校舎増築・給食室改修事業

(247,800千円)

教室不足や給食室のスペース不足に対応するため、校舎の増築工事や給食室の改修を行います。



対象	内容
校舎増築	・増築工事
給食室改修	・ワゴンプール拡張 ・調理員トイレ増築

地域企業魅力発信・子どもの職業体験支援事業

(1,200千円) **New!**

職業体験イベント『カメジョブキッズ』の開催を支援し、小学生のキャリア教育を推進するとともに地域企業の魅力を発信します。



情報教育推進事業（小学校・中学校）（57,300千円）

< 令和元年度補正予算額（繰越明許費）（148,400千円） **New!** >

国の「GIGAスクール構想」を受け、児童生徒1人1台端末に対応できるよう、市内全小中学校に高速大容量通信ネットワークを整備します。



子どもたちの健やかな成長

子育て世代包括支援事業（81,160千円） **Up!**

妊娠期から幼児期までの切れ目ない支援を充実します。

～新たな取り組み～

- ◆妊婦歯科健診
- ◆精密眼科検査(3歳児健診)



放課後児童クラブ事業（148,660千円） **Up!**

新たに開設される施設を含む22の放課後児童クラブの運営を支援し、子どもたちが安心して生活できる居場所の充実を図ります。



予防接種費用助成事業（7,630千円） **Up!**

新たに学童期以降の『百日せき』の免疫維持を目的としたDTPワクチンの予防接種費用を助成対象とし、感染症予防を推進します。

DTPワクチン・・・ジクテリア、百日せき、破傷風を予防する3種混合ワクチン



4. 防災・減災対策の強化

- 南海トラフ地震の発生が危惧されるとともに、台風の巨大化や集中豪雨の多発により被害が甚大化する傾向
- こうした大規模自然災害に対し、施設の強靱化や避難対策など、防災・減災の取組を進めていくことが重要
- 防災マップを全面改定し、災害時における円滑かつ的確な避難行動につなげるとともに、公共施設や住宅の耐震化等を進め、ソフトとハードの両面から防災・減災対策を推進

市全体での防災力・減災力の向上

自助・共助

総合防災マップ作成・配布事業

(12,200千円) **New!**

洪水、土砂災害、ため池、地震の各種防災情報を掲載した総合的な防災マップを作成・配布します。また従来の冊子版に加えて、災害時に実用性の高いA1版を作成します。

自主防災組織育成事業 (1,140千円)

災害時に重要な役割を担う自主防災組織の結成促進と育成・強化を図るため、組織の設立や防災資機材の購入等に対する支援を行います。

地震対策・木造住宅補強事業 (36,464千円)

旧建築基準法適用の木造住宅の無料耐震診断を実施するとともに、耐震性の低い木造住宅の耐震補強又は除却に対する支援を行い、地震による人的被害の低減を図ります。

ブロック塀等撤去支援事業 (2,000千円)

建築基準を満たしていない私有地のブロック塀の撤去に対する支援を行い、公道の安全性を高めます。

空家等対策事業 (8,400千円) **Up!**

災害時に倒壊の恐れがあるなど周囲に悪影響を及ぼす特定空家等の除却に対する補助制度を創設し、居住環境の保全を図ります。

公助

浸水対策計画策定事業 (10,700千円) **New!**

集中豪雨や台風等による浸水被害の軽減を図るため、近年、浸水被害が発生した区域について、浸水シュミレーションに基づき雨水浸水対策計画を策定します。

水道施設耐震化整備事業 (31,000千円)

地震災害発生時においても一定の給水を確保できるよう、基幹管路の耐震化を進めます。

橋梁耐震化補強事業 (7,000千円)

市民及び道路利用者の安心・安全を確保するため、引き続き橋梁の耐震補強を進めます。

はしご自動車の整備 (95,890千円) **New!**

消防力の充実強化を図るため、鈴鹿市と共同ではしご車を整備します。

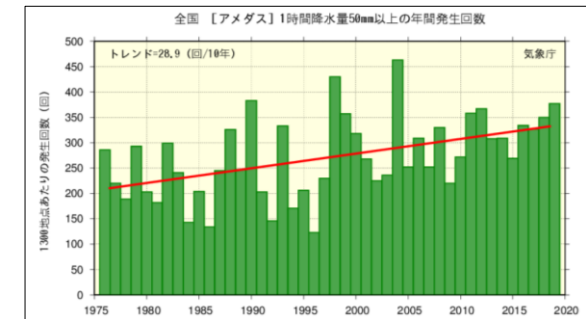


本市を取り巻く状況

本市域においては、南海トラフ地震をはじめとして、最大震度6強の地震災害の発生が懸念されています。風水害においても、全国的に台風の巨大化や集中豪雨が多発しており、浸水害や土砂災害の発生が危惧されます。

【亀山市域において想定される地震災害】

分類	断層帯等名称	最大震度
海溝型	南海トラフ	6強
断層型	養老-桑名-四日市断層帯	6強
断層型	布引山地東縁断層帯(東部)	6強
断層型	布引山地東縁断層帯(西部)	6強
断層型	頓宮断層	6弱
断層型	鈴鹿東縁断層帯	6強



気象庁HPより

5. まちのにぎわい再生プログラム

- 第2次総合計画に掲げる都市空間形成方針の具現化に向け、コンパクト&ネットワークの都市づくりを推進
- 都市機能や居住の適切な誘導を行うとともに、市内環状道路の整備や公共交通網の形成により都市拠点と地域を結ぶネットワークを形成
- 中心的都市拠点において、再開発組合による第一種市街地再開発事業が進む中、にぎわいの再生に向け、亀山駅周辺整備や新図書館の整備を推進

都市拠点・居住地の形成

居住誘導区域で 実施		居住誘導区域で 重点化	
地籍調査事業 (17,975千円) 土地利用の促進や大規模災害に備えるため、地籍調査を実施します。	住宅取得支援事業 (2,000千円) 居住誘導区域内における戸建住宅の取得に対し、助成金を支給します。	[再掲] 空家等対策事業 (8,400千円) 市外からの移住者による空き家のリフォームを支援します。	狭隘道路後退用地整備事業 (10,000千円) <i>Up!</i> 狭あい道路の拡張整備を促進するため、助成金の支給等を行います。

中心的都市拠点

都市づくり戦略推進事業 (13,000千円)

都市マスタープランに掲げる都市づくりの戦略方針に基づき、『回遊性の高い「複合都市機能集積地の形成」』の実現に向け、亀山駅周辺まちづくりの方向性を示すエリアプランの検討を進めます。

亀山駅周辺整備事業 (955,300千円)

市の玄関口であるJR亀山駅周辺のにぎわいづくりと活性化に向け、再開発組合により進められる施設建築物や公共施設の建築工事等を支援します。

【主な事業内容】

- 市街地再開発事業
2ブロック・・・共同施設整備 (補助金)
駅前広場・・・工事 (負担金)
亀山駅前線・・・工事 (負担金)
- 道路整備事業
市道御幸1・6号線・・・用地買収・建物等補償
市道御幸7号線・・・用地買収・建物等補償

図書館整備事業 (572,410千円)

新図書館の整備を進めるとともに、開館に向けた機運を醸成するため「図書館フォーラム」を開催します。



※本完成予想図は、令和元年12月末時点のものであり、今後の詳細検討により外観が変わる可能性があります。

ネットワークの形成

地域生活交通再編事業 (122,230千円)

自立した移動手段を持たない人などの移動手段の確保や社会参加の促進など、公共交通アクセスを確保するため、バスや乗合タクシーを運行します。

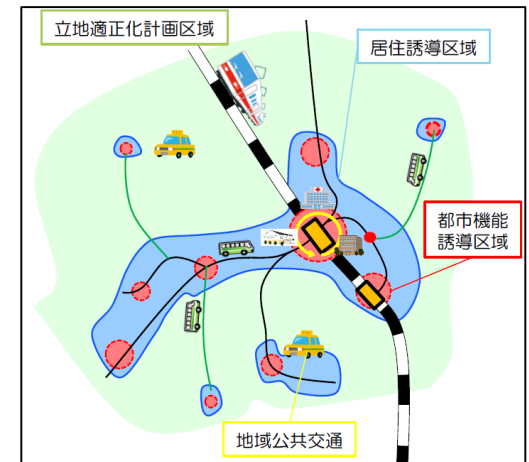
乗合タクシーについては、引き続き無料体験乗車券を配布し、一層の制度定着を図ります。

都市計画道路整備事業 (和賀白川線)

(60,000千円)

産業発展と市民生活の根幹を担う道路ネットワークである市内環状道路の整備に向け、亀山斎場線の工事に着手します。

【コンパクト&ネットワークのイメージ】



国交省HPより

6. 地域がいきいき輝くまちづくり

- 「市民力・地域力が輝くまちづくり」をまちづくりの基本方針として位置づける本市にとって、市民・地域の活動する力は、まちづくりを進める上で欠かすことのできない力
- 地域における「拠点づくり」「仕組みづくり」「人づくり」を進め、地域による主体的な地域まちづくり活動を様々な角度からサポート

地域の輝き

人づくり

地域人材キラリ育成事業
(15,750千円)

「かめやま人キャンパス」を開講し、地域の課題に取り組み、活躍するひとづくりを進めます。



仕組みづくり

地域福祉力強化推進事業
(12,600千円) Up!

CSW (コミュニティソーシャルワーカー) の正規職員化や相談支援包括化推進員を中心とした多機関協働による包括的支援体制の構築を進め、地域における助け合い・支え合いの仕組みづくりを支援します。

市民活動応援事業 (7,983千円)

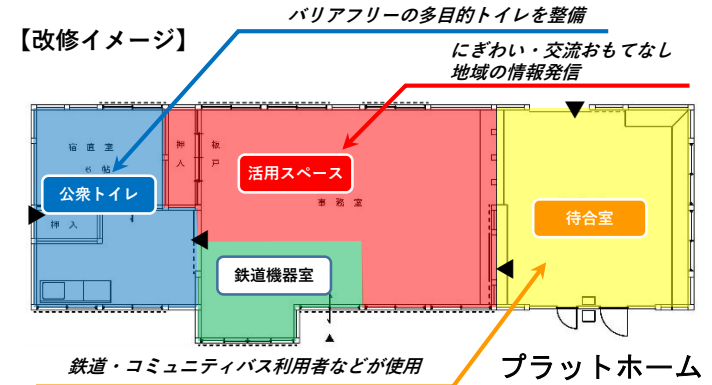
市民活動応援券を交付し、地域まちづくり協議会や市民が活用することで、市民活動の活性化を図り、活力ある地域社会の実現を目指します。



拠点づくり

JR加太駅舎改修事業 (4,800千円) New!

西日本旅客鉄道(株)から無償譲渡を受け「JR加太駅舎」を改修し、鉄道利用者の利便性向上をはじめ、地域と協議しながら、歴史観光資源や地域のにぎわい交流・情報発信の場としての活用を進めます。(R2年度:設計 R3年度:工事)



※耐震補強工事・駅前舗装工事なども併せて行います。
※設計段階において内容が変更となる場合があります。

自立した地域まちづくり活動への総合的な支援

地域まちづくり協議会支援事業
(31,100千円)

地域予算の交付による財政的支援や、アドバイザー派遣等の人的支援を行うなど、地域まちづくり協議会による自立した地域まちづくり活動を促進をします。

- 令和2年度から「市民サービスの向上と次代を見据えたスマート自治体への転換」を改革目的とする
「第3次亀山市行財政改革大綱」がスタート
- 新たなICT技術を活用し、効果的な市民サービスの提供を行うとともに、業務の効率化と正確性を確保し
職員の働き方改革につなげるなど、行政システムの改革を推進

①マイナンバーカード活用した利便性の向上

証明書等コンビニ交付事業（10,100千円）

マイナンバーカードを利用して、住民票の写し・印鑑登録証明書等を発行できるコンビニ交付サービスを提供します。

個人番号カード交付事業（27,643千円）

マイナンバーカードの普及に向け、カード取得に必要な手続きを行うとともに、取得促進に向けた取組を進めます。

②新たなICT技術の活用

RPA等の導入（3,616千円） *New!*

RPA等を導入し、定型的なシステムへの入力作業の自動化を進めます。

③スマート自治体に向けた基盤整備

新庁舎整備事業（8,800千円）

施設の老朽化・狭あい化の解消や、防災拠点としての機能確保、効率的な事務や市民サービスの向上を図るため、新庁舎建設に関する具体的な計画となる「新庁舎建設基本計画」を策定します。

市民サービスの向上

職場環境の改善
働き方改革の推進

第3次亀山市行財政改革大綱
体系イメージ

